

RT JOURNAL

RT JOURNAL Vol.27では、2023年度のCSR活動の取り組みについてお届けします。
是非ご覧ください！

安全

リーテックは、
社会と社員の安全を
守り、安全な作業環
境の確保に継続して
取り組んでいます。



3 すべての人に
健康と福祉を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられ
るまちづくりを



12 つくる責任
つかう責任

◆セーフティードライブ講習



▲セーフティードライブ講習資料

2024年3月に全7拠点の従業員を対象にセーフティードライブ資料を配布しました。この資料では、地球環境に優しい「エコドライブ」や「事故に関わる生理的・心理的要因」についての心がけと対策を理解する資料を作成いたしました。運転慣れをしていても初心に帰り、安全運転の振り返りや割り込み運転がもたらす事故・ながら運転の危険性を再認識し、安全運転の意識を各個人がもち事故のないようになればと思います。エコドライブを意識し社用車だけでなく自家用車の運転時にもエコドライブの心がけを意識して地球環境を守っていきましょう。また、運転する人だけではなく、普段運転しない方にもご活用いただければ幸いです。今後も複数の社用車を所有している企業として、セーフティードライブを通し社内教育として実施することで、企業の社会的責任を積極的に果たしていきます。

◆エコ通勤・自転車ヘルメットPOP

2023年12月から社内の掲示板に「エコ通勤」と「自転車のヘルメット着用」についてのPOPを掲示しています。

このPOPは、近年自動車のCO2排出量が多くなり排出量の少ない公共交通機関や自転車、徒歩などを利用し地球環境を守る運動です。現在、自転車や徒歩での移動が見直されています。さらにCO2を全く排出しない自転車や徒歩などでの移動は究極の「エコ」、自転車や徒歩を積極的に活用する事で地球温暖化防止につながるのはもちろんのこと、使い方を工夫すれば利便性や健康面などにも効果的です。そして自転車を運転するときはヘルメットの着用を推進しています。改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。自転車死亡事故の多くは頭部に致命傷を負い亡くなっています。

従業員の方で自転車通勤の方も多いと思います。ヘルメットを着用していればと後悔する前に着用をおすすめいたします。今は努力義務ですが、できるだけヘルメットを着用し通勤をいたしましょう。

自転車、徒歩を見直そう

CO2を全く出さない移動方法である、自転車や徒歩。
そんなエコ移動こそ、究極の smart move です！

- 現在、「健康」、「カッコいい」といった視点から、自転車や徒歩での移動が見直されています。さらにCO2を全く排出しない自転車や徒歩などの移動は究極の「エコ」。
- 渋滞の起こりやすい都市中心街や最寄り駅までの移動、そして乗換の駅間の移動などは自転車や徒歩を積極的に活用しましょう。地球温暖化防止につながるのはもちろんのこと、使い方を工夫すれば利便性や健康面などにも効果的です。



それ、
エコだね！



▲相模原センター掲載写真

▲エコ通勤POP

環境活動

リサイクルの業者として、環境保護を積極的に推進し取り組んでいます。



◆FSC®認証紙の採用



2024年から、リーテックはお客様に配布用資料（会社案内、パンフレット）についてFSC認証紙を採用させていただきます。

FSC®認証紙とは？

FSC認証製品は、違法伐採に加担せず、責任ある森林管理を支援するものです。FSCラベルがついた原材料や製品を調達、生産、販売、あるいは使用することは、企業の社会的責任を果たすためのみでなく、企業価値や持続可能性の向上にも貢献します。

（参考資料：FSCビジネスパンフレット2023年7月版）

◆町づくり・環境美化活動



▲尼崎センター



▲守口センター

関西拠点では昨年度に続き、事業所周辺の美化活動を通じて、地域社会貢献への取り組みを行っています。守口センターでは毎月第3月曜日に地域の清掃活動を実施、尼崎センターでは2か月に一回、地域市民団体主催のクリーンキャンペーンに参加しています。3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進する私たちにとって地域社会の清掃・美化活動は環境に配慮する企業の社会的責任と考えます。これからも積極的に地域社会貢献活動へ取り組んでいきます。

◆紙資源POP

環境負荷を低減するための取り組みとしてコピーやプリントアウトを減らして紙資源の利用を削減しましょう！



リーテックでは限りある資源の有効利用と環境への負荷低減に取り組んでいます。

確認資料などの印刷は積極的に裏紙を使用し、複数面を1枚に印刷をしたり、印刷をするべきか再度確認をすることで紙資源やインクの利用削減を推進しています。

地域・社会

Li Tong グループは、全世界に30拠点以上事業展開しています。社会の一員であることを自覚し、CSR活動を行い地球社会に貢献していきます。



◆エコキャップ回収・書き損じはがき

ペットボトルキャップリサイクル報告書
リーテック株式会社 様
9.0Kg(約4,300個分)のペットボトルキャップを集められました。
 ワクチンで換算すると...約**6.9人分**に相当します!
 ありがとうございました。

ペットボトルキャップ活動のしくみ
 大東環境グループ
 ペットボトルキャップを原料にリサイクルパレットを製造
 ペットボトルキャップ11個 資源価値(約11円)を寄付
 回収したペットボトルキャップをリサイクルして、再生紙や再生プラスチックを製造し、環境にやさしい製品を開発・販売します。

JCVと協力「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の活動を、回収したペットボトルキャップを「ワクチン」に換算し、世界の子どもたちの命を守る活動を行う民間の国際支援団体です。報告書として「エコキャップ」で、1.54x10¹⁰個(約154億)分で、約154万人分相当に相当します。

JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2024年2月5日 ID 6011123

リーテック株式会社 さま

東京都江東区新砂3-10-8 丸一運輸新砂センター

受付日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2023/09/20	21.5Kg	215円	10.75人分
累計	112.0Kg	1,120円	56人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。ご支援に心より感謝申し上げます。



昨年に引き続き、社内で協力しエコキャップ・書き損じはがきを回収し寄付させていただきました。皆様のご協力に感謝します！今年度も「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」様のプロジェクトに参加し、ペットボトルキャップは関西で約6.9人分、関東で約28人分、書き損じはがき(切手・印紙等含む)は約154人分のポリオワクチンに相当するものが集まりました。リサイクル資源として再資源化を進めるリーテック理念に則った活動で、さらに世界の子どもたちへワクチンの支援ができました。

◆不用品回収活動

リーテックは、本年度初めて、地域社会への貢献を目的とした不用品回収活動を実施いたしました。「一般社団法人いいことファーム」のプロジェクトに参加し、皆様から頂いた不用品を段ボールに詰め、段ボール1箱につき100円を『ハタチ基金(※)』に寄付いたします。「一般社団法人いいことファーム」のホームページにリーテックの寄付実績が掲載されています。是非こちらでチェックしてください！ → <https://eco-to-ship.jp/>

※「ハタチ基金」とは東日本大震災の被災地の子どもたちに寄り添い2011年から20年間継続的に支援を行う基金です。



▲東京本社・相模原センター



▲尼崎センター



今年度も昨年に引き続き、エコキャップ回収や環境美化活動を行いました。また、新しく企画した不用品回収活動に、多くの社員の方にご協力いただきまして誠にありがとうございました。今後は環境活動だけでなく、啓発活動・教育にも力を入れたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

CSR 高橋 童恩